

PRAEVIDENTIA DAILY (6月30日)

昨日までの世界：日欧のインフレ上昇でドル安

先週金曜は、ドイツ6月分総合HICPが前年比+1.0%と前月(+0.6%)および市場予想(+0.7%)を大きく上回ったことから、将来的なECBの量的緩和導入期待が後退、ユーロが上昇した。ドイツ全国発表に先立ちザクセン州など各州分が発表されていたが、概ね前年比のインフレ率が前月から+0.1%ポイント上昇する結果であったことから、全国分が+0.4%ポイント前月を上回ったのは大きなサプライズだった。ユーロ/ドルは引けにかけて1.3651ドルと、25日の高値に並び、既に6月のECB政策理事会での緩和策発表前の水準を上回っている。スイスフランも対ドルでユーロとほぼ同様に上昇した。

ドル/円は、米10年債利回りの低下基調の中、本邦コアCPIは前年比+3.4%で市場予想通りだったものの、非常に高い伸びが確認されたことで、発表後にドル安円高がやや加速し、一時101.32円へ下落した。NY時間にはミシガン大消費者信頼感確報値の予想比上振れ(82.5)や株高もあって米長期債利回りは若干持ち直したが、ドル/円は101円前半に留まっている。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-0.3	+0.00	-0.00	-0.00	+0.01	+0.01	-0.01	+0.2	-1.4	-0.1	+0.1
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独株差
ユーロ/ドル	+0.3	+0.01	+0.01	-0.00	+0.01	+0.02	+0.01	-0.1	+0.2	+0.1	-0.02
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.0	+0.02	+0.01	-0.00	-0.00	+0.00	+0.01	+0.3	+0.2		
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
豪ドル/米ドル	+0.1	-0.02	-0.02	-0.00	-0.05	-0.04	+0.01	+0.2	-0.1	-0.4	
	変化率	NZ米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
NZドル/米ドル	-0.0	-0.02	-0.02	-0.00	-0.07	-0.06	+0.01	+0.2	-0.1	-0.4	
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB	
米ドル/加ドル	-0.2	-0.01	-0.00	+0.01	-0.00	+0.01	+0.01	+0.2	-0.1	-0.4	

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-0.6	+0.01	+0.00	-0.00	-0.05	-0.07	-0.02	-0.1	-1.7	-1.4	-1.3
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独株差
ユーロ/ドル	+0.4	-0.01	-0.00	+0.00	-0.01	-0.08	-0.07	-2.2	-0.1	-1.3	-0.02
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
豪ドル/米ドル	+0.4	-0.08	-0.08	+0.00	-0.06	-0.13	-0.07	-0.3	-0.1	+0.5	-0.7
	変化率	NZ米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
NZドル/米ドル	+0.9	+0.04	+0.04	+0.00	+0.07	-0.00	-0.07	-0.3	-0.1	+0.5	-0.7
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.1	-0.06	-0.06	+0.00	-0.05	-0.12	-0.07	-1.0	-0.1		
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	世界株価	米株価	原油WTI	CRB
米ドル/加ドル	-0.9	+0.02	+0.00	-0.01	-0.03	-0.07	-0.04	-0.3	-0.1	-1.4	-0.7

(注) 為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。

きょうの高慢な偏見：ユーロ相場はインフレ上振れを既に織り込んだか？

きょうの注目通貨：EUR/USD↑、USD/JPY↓

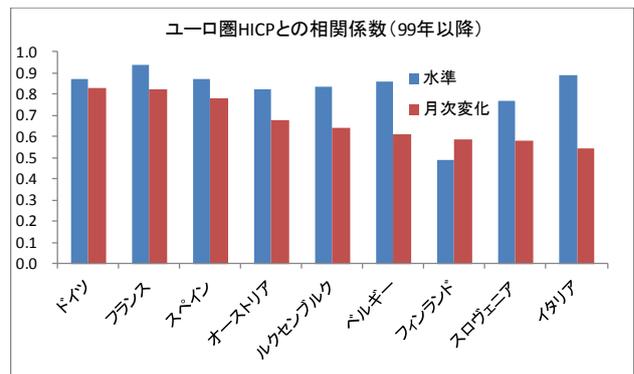
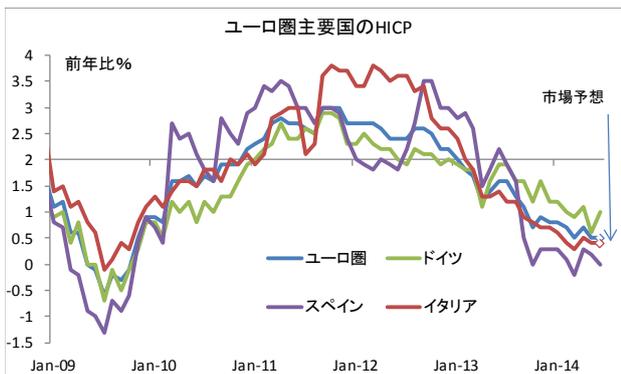
きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
NZ5 月住宅建設許可件数	7 : 45	+1.5%	-2.5%	
本邦 5 月鉱工業生産・前月比	8 : 50	-2.8%	+0.9%	
豪 5 月民間部門信用・前月比	10 : 30	+0.5%	+0.4%	
ドイツ 5 月小売売上高・前月比	15 : 00	-0.9%	+0.8%	
英 5 月 BoE 住宅ローン承認件数	17 : 30	6.29 万件	6.18 万件	
ユーロ圏 6 月 HICP 前年比・速報	18 : 00	+0.5%	+0.5%	
イタリア 6 月 HICP 前年比	18 : 00	+0.4%	+0.4%	
カナダ 4 月 GDP 前月比	21 : 30	+0.1%	+0.2%	
米 6 月シカゴ製造業 PMI	22 : 45	65.5	63.0	
Williams サンフランシスコ連銀総裁発言	1 : 10			ややハト派、投票権なし

(出所) プレビデンティア・ストラテジー作成

本日はユーロ圏総合 HICP (EU 基準で作成された CPI) 速報値が注目だ。先週金曜発表のドイツ分 HICP 前年比が前月の+0.6%から+1.0%へ大きく上昇したにも拘らず、ドイツ分と連動性が高いユーロ圏分については前月の+0.5%から横ばいの予想となっており、上振れリスクがあるとみられる(下図を参照)。実際にユーロ圏インフレ率のドイツ分と同程度(+0.4%ポイント)の大幅反発が確認されればユーロ高要因だが、先週金曜のドイツ分発表後に、(エコノミストが出すユーロ圏分 HICP 予想は上方修正されていないが)為替市場では既に上振れが織り込まれている可能性がある。このため、前月からの持ち直し幅が+0.3%ポイント以下になる場合のユーロ反落リスクにも注意が必要だろう。

因みに、先週金曜発表のスペイン分は前年比 0.0%と前月および市場予想を下回り、本日ユーロ圏分と同時発表のイタリア分は前年比+0.4%で前月から横ばいの予想だ。ユーロ圏分と各国分の相関をみると、水準の相関、前年比計数の前月からの変化幅の相関のいずれも高いのはやはりドイツで、イタリア分は水準の相関は高いものの変化幅の相関は低い(下図を参照)。

ドル/円は再び 101 円が本当に底堅いのかを試す展開だ。材料面では、①本邦鉱工業生産の上振れを受けた消費増税後の景気悪化リスクの後退と日銀追加緩和期待の後退、および②シカゴ PMI の下振れ、などが試金石となる。



ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいますようお願い申し上げます。
 当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。
 当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
 金融商品取引業者(投資助言・代理業) 関東財務局長(金商)第2733号
 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641